

サステイナビリティを実現する 具体的な取組み

コース管理について

2019年2月20日

会社名：株式会社嵐山カントリー倶楽部

氏名 前花 貢

サステナビリティ実現について

1番重要なことは、経営者とクラブとグリーンキーパーが、ゴルフコースの将来のビジョンを合わせ描くこと

どのような芝草管理レベルにするか？

どのようなコース管理を行うか？

コースマンが仕事をしやすくするには？

→ 長期的・短期的計画を立て行動する

1番最悪なことは、ビジョンを描かず行き当たりばったりで上司から色々な命令がくること

→ キーパーは考えていたことが出来なくなり、やる気も無くなる

サステナビリティ実現について

削減一辺倒ではなく、増加するものもある

→ 労働時間削減のための機械化

コースレベルアップのための刈込回数増加

等

ゴルフ場とプレイヤー

会社と従業員

→共にWin-Winの関係になるように

→サステナビリティ実現

I.コース管理費削減

1.コース作業の変化

気象条件等の変化により、キーパーも考え方を考える必要がある

①今までの作業の断捨離（取捨選択） ・ 簡素化
目土・バーチカル・エアレーション →微生物
（土着菌）利用

①廃棄物で有効活用（微生物利用）
芝カス・コアリングカス・剪定枝の堆肥化

③使用資材の変化（使用量・種類）

- ・ 肥料 → 刈込カス利用
化成肥料から堆肥
- ・ 除草剤 → OBライン変更
散布時期変更
- ・ 殺菌剤 → 排水改善（微生物利用）
時期散布エリア見直し

④刈込の変化

手刈 → 乗用（刈込ライン変更） → 労働時間減
集草バケツトあり → 無し → 楽（時短） & 肥料減

2. コース使用の変化

- ①ティーイングエリア等の植栽整理
- ②人工物の集約・除去(ティ周り)
- ③乗用機械での刈込エリア拡大
- ④樹木整理・伐採
- ⑤OBライン見直し

→ 従業員が楽に

Ⅱ.人材確保・労働時間削減

人材確保が、ゴルフ場での1番の問題

1. 給料を上げる
2. 必要な時間帯の人材確保
3. 仕事を飽きさせない、作業をローテーション
4. 仕事への喜び・充実感
5. 作業着を変更

結 論

経営者とクラブとグリーンキーパーが将来のビジョン
を合わせ描くこと

ゴルフ場とプレーヤー、会社と従業員が共にWin-Winの関係

→ グリーンキーパーも考えるし、色々な努力をする

→ **サステイナビリティ実現**

ご清聴ありがとうございました